

保健体育科学習指導案

日時 平成29年9月19日(火) 5校時
 生徒 北斗市立大野中学校2年A組33名
 授業者 山本伸行

1 単元名

「バレーボール(キャッチバレー)」

2 単元について

バレーボールは、チーム全員でボールをつないでラリーができる楽しいスポーツである。高いレベルのゲームではスパイクやブロック、レシーブなど、白熱したラリーの応酬は見る者やプレーをしている本人をも興奮させる。しかし、実際にはボールコントロールが難しく失敗せずにラリーを続けることは容易ではない。また、「ボールを打つ時に痛いし、怖い」という理由で「バレーボールが嫌い」と感じる生徒もいる。最近、テレビ放送も頻繁の行われ、中学生にとっても認識度も高い。ボールの種類やコートの大きさを変えることで、様々な年齢層に気軽に取り組むことのできるスポーツである。

3 単元の目標

自分やグループの課題を見つけ解決に適した練習方法や作戦を考え、ゲームに生かすことができるようにする。ゲームでは、全員が参加でき、<ボールがつながる>楽しさを実感できるキャッチバレーを行う。また、グループ内(ペア)で技能を高めさせるためにアドバイスを活発に行わせ、その際にタブレットなどの機器も積極的に活用する。

4 生徒の実態

(略)

5 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識・理解
①球技の特性に関心を持ち、仲間とともに練習する楽しさや喜びを味わえるように、進んで学習に取り組もうとする。 ②互いの良さを認め合い、協力して練習したり、話し合おうとする。	①学習課題に応じた運動への取り組み方を工夫している。	①特性に応じてゲームを展開するための基本的な技能や仲間と連携した動きを身に付けている。	①特性や技術の名称、関連して高まる体力や試合の行い方を理解している。

6 単元計画(5/6時間目)

時数	学習内容	評価規準(評価観点)				
		関	考	技	知	評価方法
1	オリエンテーション、試しのゲーム ・バレーボールの特性と基本のルール、用具の使用法など				◎	学習カード
2 3 4 5 6 7	①基本技能の習得 ・オーバーハンドパス、アンダーハンドパス サーブ、スパイク ②キャッチバレー ・小コートでキャッチの回数制限などあり	◎	◎	◎		学習カード 観察(動き)
8 9 ⑩ 11 12	③チーム練習 ・3段攻撃など連携を意識した練習 ④キャッチバレー ・大コートでキャッチの回数制限なし～ありへ	◎	◎	◎		学習カード 観察(動き・行動)

7 研究主題との関連性

- ・グループでの練習では、技術的なアドバイスをし、協力して練習できるように働きかける。
(協同学習を用いた学び合いの工夫)
- ・ゲームの様子を撮影し、良いプレーを紹介し、自分たちに還元できるようにする。
(友達のよさを見つけ、認め合う振り返りの工夫)

8 本時案 (10 / 12)

(1) 本時の目標

いろいろな攻め方や守り方などの作戦を工夫し、バレーボールの楽しさを味わうことができるようにする。(関心・意欲・態度)

(2) 本時の観点別評価

評価基準	十分満足できる (A)	努力を要する生徒への手立て (C)
いろいろな攻め方や守り方などの作戦を工夫し、バレーボールの楽しさを味わうことができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・練習やゲームで、自分の役割を果たし、協力して教え合ったり、励まし合ったりしようとしている。 ・作戦を立てて勝敗を競い合うバレーボールの楽しさを味わおうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加意識を高めて、全員が参加できる雰囲気作りを行う。 ・良い動きや工夫した動き、雰囲気盛り上げるような声掛けに対しては、積極的に賞賛を行う。

(3) 本時の展開

段階	学習活動	*教師の支援 ◆留意点 ◎評価
導入 10分	①準備 ②整列・あいさつ ③ウォーミングアップ(3分間走・準備運動・ドリル) ④本時の学習内容と目標の確認	*①～③まではてきぱきと流れよく行動させる。 *本時の学習のねらい、流れを理解させ、学習の見通しを持たせる。
展開 35分	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-weight: bold; margin-bottom: 10px;"> 攻め方や守り方などの作戦を工夫し、バレーボールの楽しさを味わおう！ </div> ⑤チームごとにミーティングを行い、ゲームでの攻め方や守り方などの作戦を立てる。 ⑥チーム対抗でキャッチバレーに取り組む。	*前時のゲームの様子を動画で確認させる。 ◎攻め方や守り方などの作戦を工夫し、積極的に参加しているか。 ◆ホワイトボードに作戦を記入し、掲示する。(思考の可視化) *良い動きや工夫した動き、雰囲気盛り上げるような声掛けに対しては、積極的に賞賛を行う。
終末 5分	⑦本時の学習を振り返り、評価・反省をする。 ⑧次時の学習内容を確認する。 ⑨健康観察、あいさつ、後始末	*本時の学習の成果を振り返る。 *タブレットの活用 *本時の学習を踏まえ、次時における課題を確認する。 *後始末の確認をする。